



市役所前にて分列行進



池之端での一斉放水



成美校区の安心・安全を願い決意を新たに  
令和2年1月11日出初式後に分団前にて



市役所前での纏振り

## 令和二年二月十二日(土) 高岡市消防出初式が開催されました!

- ・ 出動人員 消防職員178名 消防団員845名
- ・ 出動車両 消防署7台 消防団34台
- ・ 特別参加 富山県消防防災航空隊

### ご挨拶

成美分団分団長 橋本 米暁

令和元年六月三十日、成美分団に輝かしい歴史の一ページを刻むことが出来ました。四月末より約二か月の間、朝四時に起床し約二時間の練習を、団員一丸となって取り組みました。その結果、第十四回高岡市消防団操法大会に準優勝し、念願であった県大会の出場を果たすことが出来ました。

消防関係者の方々をはじめ地域の皆様方には多大なるご支援とご協力を頂き誠にありがとうございました。

また、最大の応援者は団員の奥様や家族であり、早朝練習など日常とは異なる生活リズムの中で県大会までの約三か月間、団員を支えて頂き深く感謝申し上げます。

さて、消防団では常日頃から、火災予防広報を行っており、その一環として、住宅用火災報知器の点検をお願いしております。高岡市では平成二十年から、すべての住宅に設置が義務化となり、有効期限とされる十年が経過し、電池の交換や器具の取替えが必要となっております。自主防災会や地域の集會等にお呼び頂ければ点検方法や新しいタイプの連動型住宅火災報知器のご説明に消防団員が伺います。

これからも地域皆様とともに成美校区の安全安心と財産を守るため、防災に対する啓発活動を進めて参ります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 栄えある表彰

無火災表彰 成美分団

精勤表彰(十年)表彰

精勤表彰(十年)表彰

精勤表彰(五年)表彰

精勤表彰(五年)表彰

団員 越井 賢一

団員 村谷 諭志

団員 佐野 博保

団員 谷 知洋



# 第七十回富山県下消防団操法大会に初出場！

令和元年七月二十七日(土)に富山県広域消防防災センター(富山市惣在寺)にて開催されました。

・出場チーム ポンプ車操法の部 22チーム



県大会の競技前にポンプ車前にて



県大会での放水の様子

## 消防団操法大会とは

消防団操作大会は、消防技術や消防器具の安全適切な取り扱いの習得と規律や士気の向上を図ることを目的に、毎年全国で行われています。

1チーム5人の隊員が指揮者の合図で「操作」を開始し、「水槽」より「ポンプ車」に水を揚げ(揚水作業といいます)「ポンプ車」より3本の「ホース」を伸ばして結合し、「筒先」(筒先の先端のノズルから水が出ます)から水を放水して火点(的)が倒れるまでのタイムと各隊員の動作の正確さを競います。

上位三チームが県大会の代表となる高岡市消防団操法大会が令和元年六月三十日に行われ、見事準優勝し長年の目標であった県大会に初出場を果たしました。選手、団員同士の結束と信頼、指導して頂いた消防職員の熱心なサポートのお陰と感謝いたします。



市大会後の分団前にて

## 市大会上位3チームの成績

1位	伏木西分団	総得点	170
2位	成美分団	総得点	160
3位	中田分団	総得点	156

今回、高岡市消防団の代表として、私たち成美分団は、富山県下消防団操法大会に初出場いたしました。選ばれた者の使命感と高岡市消防団員すべての思いを胸に大会にむけて、全力をつくし日々訓練に打ち込んできました。残念ながら入賞にはあと一歩及びませんでした。富山県下消防団操法大会に初出場して培った貴重な経験を後輩たちに伝えていくとともに、これからも地域の安全安心を支える消防団員としてさらに精進して参りますので、よろしくお願ひします。ご支援、ご声援、ありがとうございます。

指揮者 班長 関 尚宏



市大会での競技の様子

指揮者	班長	関 尚宏
一番員	団員	井波大介
二番員	団員	鷲北明紘
三番員	団員	林 靖浩
四番員	団員	山口泰祐
補助員	団員	佐野博保







